

人は必ず1年に1つずつ年を重ねます。しかし時間の過ぎ方は人によってさまざまです。年齢を重ねてもいきいき活躍されている方がたくさんいらっしゃいます。町には助けたり、助けられたり、人と人が支えあう「お互いさま」や「おかげさま」が当たり前のようになっています。地域

には、子ども、働き盛りの人、そして仕事や子育てが落ち着き時間に余裕のある人などその人にしかできないことがたくさんあり、地域の中でできる人ができる方法で地域を支えています。皆さんもお互いさまやおかげさまを自分から通わせてみませんか。

地域の皆が家族のように

鎌掛2区では、毎月1回70歳以上の方が集う「いきいきサロン」を実施されています。サロンの目標は「気楽に明るく楽しく元気に」です。毎月約15人の方が集まり、まるで家族のように気楽な雰囲気の中で、楽しいひとときを過ごされます。



▲いきいきサロンの様子

町内には地域の福祉協力さん等が中心となり行われている「サロン」がたくさんあります。鎌掛2区では集まる皆さんが運営されています。岡崎ヨシ子さんは「となくおのり組の集まりのようなサロンなので、楽しみながら続けられます」と15年間続いている秘けつをお話されました。地域に住む皆さんが集り、何気ないお話をしたり、地域の花壇の草むしりをしたり、文化祭に出席する作品を作ったりなど、気の合う仲間と楽しいひとときを過ごす場となっています。

あり続けよう



「働きたい」と「手伝ってほしい」をつなぐ

今までの経験をいかして元気に活躍される方がいらっしゃいます。日野町シルバー人材センターは「まだまだ働きたい」という皆さんと「ちょっと手伝ってほしい」という地域の人をつなぐ役割を果たしています。

どんなことでも
助けてもらえる

シルバー人材センターへお願いされる仕事はさまざまです。この日はタンス1竿の廃棄の依頼がありました。仕事をお願いされた北村さんは、「ちょっとしたことでも簡単にお願いでき、すぐに対応してもらえてありがたいです」と話してくださいました。お願いされたその日のうちに人の手配、ごみ清掃センターの許可書の手配等をされ家へ来られたそうです。

北村さん宅へこられたシルバー人材センターの野田さんは「同じくらいの年代で、仕事を通じて知り合いができ、いろいろな場所へ仕事にいけないのが楽しいですね」と話してくださいました。



子どもたちに優しい目で

日野地区安全なまちづくり協議会（金子長憲会長）は、地域の子どもたちが安全に通学できるよう、巡回パトロールや見守り活動などといった防犯活動に取り組まれています。

協議会の発足のきっかけは、8年前に長浜で児童が危険にさらされる事件があり「地域の子もたちの安全を自分たちで守ろう」という思いから区長会、老人会、民生委員、ボランティアの皆さんで発足されました。

現在会員は22名。保護者の方も「安全のおっちゃんがいるから安心やわ」と頼りにしておられます。



▲日野地区安全なまちづくり協議会の皆さん



▲子どもたちの安全を守ります

また、日野小学校の北川校長先生は「不審者の通報があったときはもちろん、台風の時など通学に危険があると思われる日は協議会の皆さんが独自に対策をしてくださっています」と感謝の気持ちを話してくださいました。

地域のたからである子どもたちが元気に学校へ通学し、地域で安心して生活するため、日野地区安全なまちづくり協議会の皆さんは活躍されています。

地域の支えで



草むしりも楽しく

園芸が趣味の川並さん。ご自身もシルバー人材センターの会員として植木の剪定や樹木の育成などで活躍されています。

「家庭の事情で1年間、自宅の畑での園芸を休んでいましたが今年は再開したい」と、シルバー人材センターに広い畑の草むしりをお願いされました。

青空の下、シルバー人材センターの方と一緒に草むしりをしながら、さまざまな植物の特徴やその育て方などについて楽しくお話しをされていました。

日野町シルバー人材センターとは…

日野町シルバー人材センターは、個人や企業から仕事を受け、会員の方に仲介する組織です。

現在322人が会員登録をされ、草刈り、掃除、植木の剪定、子守り、家屋の簡単な修理、工場内の軽作業などさまざまな仕事を受けておられます。経験をいかした丁寧で確実な仕事、そして地域の方が仕事をされるという安心感から、個人の家からの仕事の依頼が増えています。

◆公益社団法人日野町シルバー人材センター

☎8911